

プラズマ・核融合学会誌

第89巻第12号

2013年12月

解 説	分子軌道法を用いたプロセスプラズマへのアプローチ	林 俊 雄	835
小 特 集	俯瞰と展望：磁気リコネクション研究の最前線		
	4. 新たなリコネクション研究の芽		
	4.1 相対論領域のリコネクション	銭 谷 誠 司, 高 橋 博 之	845
	4.2 弱電離プラズマ中のリコネクション	西 塚 直 人, 磯 部 洋 明	849
	4.3 恒星におけるスーパーフレア現象	柴 田 一 成	853
	4.4 リコネクション応用の開拓	小 野 靖	857
	5. リコネクション研究の課題と将来		
	5.1 シミュレーション研究の課題と将来	宇佐見俊介, 銭 谷 誠 司	861
	5.2 高エネルギー宇宙物理学分野の課題と将来	松 元 亮 治, 高 橋 博 之	864
	5.3 太陽観測の課題と将来	清 水 敏 文, 原 弘 久	868
	5.4 磁気圏観測の課題と将来	藤 本 正 樹	872
	5.5 室内実験の課題と将来	井 通 暁, 小 野 靖, 蔵 満 康 浩	876
	6. まとめ-リコネクション研究の進歩とこれから-		
	 小 野 靖, 松 元 亮 治, 星 野 真 弘, 清 水 敏 文, 堀 内 利 得		880
インフォメーション			887
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(42)		
	幅広いアプローチ活動だより(46)		
	【会議報告】第31回電離気体現象国際会議 (ICPIG) / 第40回 European Physical Society Conference on Plasma Physics (EPS) / 19th IEEE Pulsed Power Conference (PPC) および40th IEEE International Conference on Plasma Science (ICOPS) / The 21st International Symposium on Plasma Chemistry (ISPC-21)		
	【人事公募】		
Plasma & Fusion Calendar			899
本 会 記 事			900
	【こちら編集委員会】若手の教科書		
Vol. 89 総目次			901

表紙の絵

本図は開発したコルゲートホーンアンテナの内部電界分布をモーメント法解析により求めたものである。種々の検討から D-band (110~170 GHz) をカバーする広帯域性能が得られたが、左下図に示す低周波数帯では定在波が不要モードとなり管壁近くで伝搬する様子が示されている。これらは指向性の対称性に影響を与える可能性があるものの、ECRH システムで広く利用可能である。

(Masatsugu SAKAGUCHI *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.8, 1405163 (2013) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。